

TSUDOI

スタンダードプラン 月次分析レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

TSUDOIで集計・分析する、複数の有名格付け機関によるスコア評価

◆『狙い目：中堅銘柄』発掘ガイド

仮想通貨業界全体のトレンド銘柄分析

◆『大穴：新規銘柄』発掘ガイド

VC出資先分析に基づく、注目新規銘柄情報、CMC新規リスト銘柄分析

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる[「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#)をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



有料
レポート

2025年2月末～2025年3月末 仮想通貨業界市場動向

◆ 業界全体の時価総額 推移

2025年2月25日から3月26日にかけての仮想通貨市場は、短期的な調整色が強まっております。数値としては、2月25日の時価総額は約477兆円（3.17兆ドル）でしたが、3月26日には約427兆円（2.84兆ドル）を記録しています。

また、基軸通貨であるビットコイン（BTC）の価格動向は、1BTCあたり88,641.90ドルから86,921.24ドルと推移しており、**-1.94%の下落**が見られました。

右図coinglassの情報によると、2025年3月27日時点で、ビットコイン（BTC）は月間変動率が**+3.52%**に触れており、3月は微増基調で終わる見込みとなります。

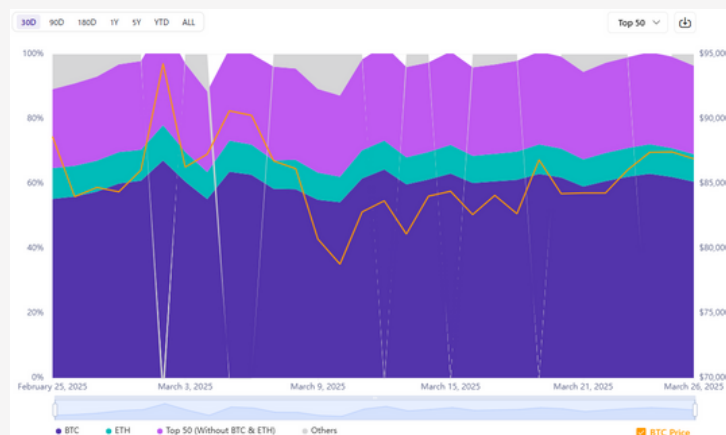


Bitcoin Monthly returns

※TokenInsight調べ

Time	January	February	March	April	May	June	July	August	September	October	November	December
2025	+9.29%	-17.39%	+3.52%									
2024	+0.62%	+3.55%	+16.81%	-14.76%	+11.07%	-6.96%	+2.95%	-6.6%	+7.29%	+10.76%	+37.29%	-2.85%
2023	+39.63%	+0.03%	+22.96%	-2.81%	-6.98%	+11.98%	-4.02%	-11.29%	+3.91%	+28.52%	+8.81%	+12.18%
2022	-16.68%	+12.21%	+5.39%	-17.3%	-15.4%	-37.28%	+16.8%	-13.68%	-3.12%	+5.56%	-16.23%	-3.99%
2021	+14.51%	+36.78%	+29.84%	-1.98%	-35.31%	-5.95%	+18.19%	+13.8%	-7.02%	+39.93%	-7.11%	-18.9%
2020	+29.95%	-8.6%	-24.92%	+34.36%	+9.51%	-3.18%	+24.03%	+2.83%	-7.51%	+27.7%	+42.95%	+46.92%
2019	-8.58%	+11.14%	+7.05%	+34.36%	+52.38%	+26.67%	-6.59%	-4.4%	-13.38%	+10.17%	-17.27%	-5.15%
2018	-25.41%	+0.47%	-32.82%	+32.43%	-18.99%	-14.62%	+20.36%	-9.27%	-5.58%	-3.82%	-36.57%	-8.15%
2017	-0.04%	+23.07%	-9.05%	+32.71%	+52.71%	+10.45%	+17.92%	+65.32%	-7.44%	+47.81%	+53.48%	+38.89%
2016	-14.83%	+20.08%	-5.35%	+7.27%	+18.78%	+27.14%	-7.67%	-7.49%	+6.04%	+14.71%	+9.42%	+30.8%
2015	-33.05%	+18.43%	-4.38%	-3.44%	-3.17%	+15.19%	+8.2%	-18.67%	+2.35%	+33.49%	+19.27%	+13.83%

※coinglass調べ



2025年2月25日から3月26日までの仮想通貨市場におけるBTC、ETH、Top 50(BTCとETHを除く)、その他の通貨(Top 50以降)の市場支配率の推移を要約します。

ビットコイン（BTC）の市場支配率は、2月25日に55.32%から始まり、3月12日には今月の最高値となる**64.38%へと上昇**。また、BTCÐを除くTOP50位のアルトコインの数字は、3月12日に**29.45%へと上昇**が記録されています。

2月時点で、ETHの市場占有率は約7～10%と推移を記録しETHのドミナンスは先月より下降傾向となります。また、50位以降の小型アルトコインにも一時的に10%超の流入が4度見られましたが、**先々月と比較すると小型アルトコインへの資金流入はやや縮小傾向にあり、投資家がリスク分散よりも大型通貨への集中**を選好したことがうかがえます。

全体的には短期的な調整基調である一方で、主要銘柄が相対的に資金を吸収し、支配率を引き上げている現状は、投資家が依然として**先行きの不透明感を意識しながらも、「より安全」と見なされる通貨を中心に様子を見ている状況**を示していると考えられます。

日付	BTC市場割合	ETH市場割合	Top 10市場割合 BTC & ETHを除く	その他
2025-2-25	55.32%	9.47%	24.44%	10.77%
2025-3-10	54.28%	7.87%	25.11%	12.74%
2025-3-12	64.38%	8.92%	29.45%	2.75%
2025-3-26	60.62%	8.52%	27.35%	3.52%

※TokenInsight調べ

※大幅な変動がある場合、取得データの遅延や不一致がある可能性があります。

TSUDOIポートフォリオ 銘柄の解説

2025年1月より新規コンテンツとしてスタートしたTSUDOIポートフォリオ銘柄については、過去に本分析レポートにてGoodマークを付与した銘柄から選出しております。本コンテンツでは、ポートフォリオに選定、保有し続ける理由についての解説を行っています。

各種注目ポイント(3月末時点)

XRP：

トランプ氏大統領就任の恩恵を受けやすい銘柄という認識を持っています。今後、米国金融企業のインフラとして本格導入に期待が持たれている中、ETF承認期待、オンチェーンデータ改善やSECの控訴取り下げによる規制リスク解消などにより、市場拡大と実用性・信頼性向上に注目が集まっている銘柄でもあります。

Dogecoin：

政府効率化省（DOGE）のトップに就任したイーロン・マスクの今後の発言、ドージコイン財団による公式ドージコイン準備金の設立。取引速度を改善し、グローバル決済ソリューションとしての実用性を目指す。

Cardano：

トランプ政権下のクリプトに関する政策形成への関与とイーロン氏のSpaceXとの実用性を伴う提携が見込まれる点や政府レベルでの採用可能性に注目が集まっています。また、米国規制下でクリプト業界へ参入見込みの高い機関投資家向けに利用される主要ブロックチェーン候補としても注目。

Hedera：

トランプ政権下のクリプトに関する政策形成への関与と創設者が米国軍事機関で働いた経験を持ち、米国規制下で業界へ参入見込みの高い機関投資家向けに利用される主要ブロックチェーン候補としても注目。その他ETF承認期待もあり。

Chainlink：

SWIFT連携、RWA進出、トランプ関連DeFi（WLFI）協力、ホワイトハウスサミット参加により存在感の高めている銘柄。米国が既存金融と共に成長を目指すRWA領域で、業界発展に不可欠なインフラとして期待されています。

Aave：

トランプ関連DeFi（WLFI）で既に導入されている点、米国規制の明確化と政権の後押しでDeFiセクターへの資金流入期待が高まり、主要レンディングプラットフォームであるAaveへの流入も期待される。

Ondo：

トランプ政権のデジタル資産政策で規制が明確化し、ウォール街のトークン化参入が加速する見込みの中、Ondo Financeは米国国債のトークン化で先行し、ブラックロックと提携したSecuritizeのBUIDLといった活用事例あり。この後も機関投資家の利用拡大が期待され、2025年の成長が見込まれる。

Litecoin :

BTCに次ぐ、PoWの代表コインとして通貨としての役割を担う点、資金調達を行っておらず、ETF申請が比較的早く承認される可能性がある点を中心に、注目を集めている銘柄となります。

Solana :

Layer1ネットワークの中でTVL第二位という実績があり、ETF申請も複数行われている銘柄として注目。直近、TVLの起爆剤となっていたミーム領域の勢いが落ちてきている点で短期的には新たな注目要因を作っていく必要あり。

Sui :

トランプ関連DeFi（WLFI）で既に導入されている点、元Facebookのクリプトチーム出身の創設者により米国で生まれた高速ブロックチェーンとして米国規制の明確化と政権の後押しを受ける可能性に期待。

Aerodrome Finance :

米コインベースが立ち上げたレイヤー2「Base」上の主要DEXとなり、トランプ政権で規制の明確化と緩和が進むとの見通しから、米国発のDeFiプラットフォームであるBaseエコシステム全体に追い風が吹くと注目。

Morpho :

米コインベースがMorpho技術を活用しビットコイン担保ローンを提供開始。政権の後押しで米国発のLendingプロトコルと金融の融合が進む可能性に注目。

Ethena :

トランプ陣営のDeFiプラットフォームがEthenaのUSDe安定通貨を統合。トランプ政権は中央銀行デジタル通貨（CBDC）に否定的な立場を示し、民間版デジタルドルとして規制整備下で注目度アップ。機関投資家の参入時にもステーブルコインの活用が見込める。

Bittensor :

トランプ政権はAI分野でも「アメリカの再興」を掲げており、市場では「中央集権的AIに対抗しうるWeb3版AI基盤」として期待される。

Lido DAO :

トランプ政権下にて、米国では「ステーキングなど分散型サービスに対する規制緩和」が期待される。本銘柄もこの動向を捉え、機関投資家向けにカスタマイズ可能な基盤を発表。これにより、機関投資家（ETF運用会社など）でもLidoを利用しやすくなることから新たな需要拡大が期待される。

選定のポイント

下記環境下で、トランプ政権の恩恵を受けやすい銘柄を中心に選定している。

トランプ政権がBTC準備金を検討することで、国家によるBTCの公式認識が進み、市場の信頼が高まる可能性がある。これにより、BTCは長期的な価値保存手段として確立され、投資家のポートフォリオでの地位が強化される。既に多くの金融機関がBTCを採用し、政権の政策がこれを後押しする見込みだ。さらに、規制緩和や政府支援により、ブロックチェーン技術の社会実装が加速し、金融市場を中心に多様な分野での応用が期待される。今後も基軸通貨であるBTC価格が上昇傾向に向かえば、米国中心に政策の恩恵を受ける他の銘柄の需要も拡大する見込みだ。

GOODマーク付き銘柄 2025年 3月集計結果

トップ銘柄 分析ガイド 3/28

一般に、BTCの価格が下がる際には、アルトコインはBTCよりも大きく値下がりすることが多いです。これはアルトコインのリスクが高いことを意味します。しかし、市場が上昇する時には、アルトコインはBTCを上回る値上がりを見せることがあります。このため、BTCが下落している時にアルトコインのパフォーマンスを月単位で評価すると、成績が悪く見えることがあります。

3月1週目~3月3週目までの週次レポートにて選定された9つのTOP銘柄の中から8つのTOP銘柄にGoodマークを付与いたしました。

※この評価は、基本的に毎週金曜日に配信される週次レポート作成時または、月次レポート作成時に、過去に配信された銘柄の価格動向を記録した情報を基に行われます。銘柄の中では、同じ銘柄が含まれていることがあります。

今月は1カ月を通して、**BTC価格**がおよそ3.52%上昇しており、9つのTOP銘柄の選定を行い8銘柄にGoodマークを付与しております。結果として3銘柄が価格高騰を経験し、3銘柄がBTC価格の推移よりも高パフォーマンスを出しています。

TSUDO I分析レポート マーク銘柄一覧

レポート 配信日付	プロジェクト	上昇率	レポート 配信日付	プロジェクト	上昇率
3/7	 <u>XRP</u>	1.08% 	3/14	 <u>Hedera</u>	3.66%
3/7	 <u>Ondo</u>	-6.43%	3/21	 <u>XRP</u>	-0.17%
3/7	 <u>Aave</u>	-5.92%	3/21	 <u>BNB</u>	1.20% 
3/14	 <u>Cardano</u>	6.00% 	3/21	 <u>Chainlink</u>	6.19% 

『★』マークは、同時期のBTC価格の増減と比べ高いパフォーマンスを出していた銘柄に付与しています。

GOODマーク付き銘柄 2025年 3月集計結果

『狙い目：中堅・大穴：新規銘柄』 発掘ガイド 3/28

3月1週目～3月3週目までの週次レポートにて、9つの狙い目：中堅銘柄、1つの大穴：新規銘柄を詳細に分析しました。

※この評価は、毎週金曜日に配信される週次レポート作成時、または月次レポート作成時に、過去に配信された銘柄の価格動向を記録した情報を基に行われます。

『狙い目：中堅』に掲載した銘柄9つ、『大穴：新規銘柄』に掲載した1銘柄の中から、TSUDOIチームでは1銘柄、中長期的な成長の可能性があるを持つと判断し『👍』を付与しております。また、1銘柄中1銘柄が、BTC価格の推移よりも高パフォーマンスを出しております。

レポート 配信日付	プロジェクト	上昇率
3/14	 RedStone	60.79% 🌟

『🌟』マークは、同時期のBTC価格の増減と比べ高いパフォーマンスを出していた銘柄に付与しています。

3月週次レポート掲載 TOP銘柄 継続分析ガイド

トップ銘柄 分析ガイド 3/28

この分析ガイドでは、3月の週次レポートにて記載された価格が急上昇したTOP銘柄に焦点を当てています。それぞれの銘柄について、レポート掲載時から月末までの時価総額ランキングの推移や、複数の海外格付けサイトの情報を基にしたTSUDOI独自の評価を紹介しています。これらの通貨は、100点満点での信頼性スコアとして、下記一覧の右側に記載されています。

TSUDOI週次分析レポート掲載銘柄一覧

※2024年9月より評価方法を一部変更しております。

配信日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	直近30日間の値上がり率	トークン価格 (3/28現在)	スコア (3/25現在)
3/7	#3→#4	 XRP 	Payment	▲1.96%	¥350.46	70.48(+0.15)
3/7	#32→#36	 Ondo 	RWA	▼6.82%	¥137.44	—
3/7	#34→#37	 Aave 	Lending & Borrowing	▼8.67%	¥27,900.54	71.84(-0.12)
3/14	#8→#9	 Cardano 	Layer1	▲9.83%	¥111.73	65.30(-0.01)
3/14	#14→#18	 Hedera 	Layer1	▼0.87%	¥29.22	67.49(-0.14)
3/14	#36→#37	 Aave	Lending & Borrowing	▼8.67%	¥27,900.54	71.84(-0.12)
3/21	#4→#4	 XRP 	Payment	▲1.96%	¥350.46	70.48(+0.15)
3/21	#5→#5	 BNB 	Layer1	▲1.64%	¥95,906.77	78.12(+0.18)
3/21	#11→#11	 Chainlink 	Oracle	▲2.44%	¥2,343.36	73.42(-0.15)

月次レポート及び、週次レポートの使い方について

今月の週次レポートにおけるGoodマークが付与されたTOP銘柄にて、これらの銘柄が、**なぜ話題を集めているかを月次及び週次レポートの考察をご覧ください、投資家の皆様がより深く理解するための分析情報として**レポートを配信させていただいております。

トップ銘柄 スコア調査ガイド

スコア調査ガイドでは、海外の様々な格付けサイトから情報を集めて、TOP銘柄を評価しています。これらの格付けサイトは、プロジェクトの進行計画と現状、トークンの経済的側面、プロジェクトチーム、ビジネスパートナーや投資家、エコシステムの成長、トークンの市場パフォーマンス、技術基盤とセキュリティ、全体的な市場での成績、技術の採用状況など、多面的な観点からの情報を提供しています。

TSUDOIのスコアは、これらのサイトから収集した情報を元に、各プロジェクトの全体的な強みとリスクを評価し、100点満点でスコアを付けます。このスコアを前月のデータと比較し、総合的な評価を行っています。**※2024年9月より評価方法を一部変更しております。**

スコアの読み方

トップ銘柄の仮想通貨は、このスコアが安定しており、**4点以上の大きな変動がある場合は、そのプロジェクトの健全性を再評価する指標**として使っていただければと考えています。

3月の時価総額TOP50銘柄の本スコア推移

上記の基準にて3月の調査を行ったところ、今月に入り**+4以上スコアが上昇**した銘柄、**-4以上のスコア**を落とした銘柄ともにありませんでした。

オンチェーン＆オフチェーン分析ガイド

Goodマークが付与されたトップ銘柄の中で、特に特徴的なデータが確認できたものについて、直近1ヶ月間のTVL、ステーキング、Xフォロワーの増減など、さまざまなデータをもとに分析・考察した情報をご提供しています。

オンチェーンデータを分析したところ、直近1カ月でHederaとCardanoにおけるステーブルコインの大幅な流入が記録されています。Cardanoは、**ステーブルコインが42.9%増、Hederaは、ステーブルコイン84.1%増**となります。**ステーブルコインの増加は、その後のDeFi基盤の強化、TVLの増加、そして経済圏の拡大という明確な流れを生み出しています。**

Hederaは高速処理と新プロトコルの導入で急成長し、Cardanoは安定したエコシステム拡大で地位を固めています。Xのコミュニティもこのトレンドを認識し、両ネットワークの将来性に期待を寄せています。この流れが続けば、2025年以降も両者の経済圏はさらに拡大する可能性が高いでしょう。

3月週次レポート掲載 中堅銘柄 継続分析ガイド

『狙い目：中堅銘柄』 発掘ガイド 3/28

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）の時価総額ランキング50～400位に位置する『狙い目：中堅銘柄』に焦点をあてた情報を提供するものです。週次レポートに記載いたしましたCMCサイト内、検索トレンド中堅銘柄に関する月末時点での経過調査となります。

週次 検索トレンドの経過調査一覧

作成日3/28

配信日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	直近1カ月の トークン価格上昇率
3/7	#58→#60	 <u>Artificial Superintelligence Alliance</u>	AI & Big Data	▼16.17%
3/7	#111→#136	 <u>Onyxcoin</u>	Layer1	▼37.97%
3/7	#130→#147	 <u>KAITO</u>	AI & Big Data	▼24.20%
3/14	#116→#121	 <u>Core</u>	Bitcoin Ecosystem	▼11.92%
3/14	#228→#306	 <u>Bounce Token</u>	DeFi	▲8.76%
3/14	#293→#269	 <u>Arkham</u>	AI & Big Date	▲5.06%
3/21	#73→#76	 <u>EOS</u>	Platform	▲5.15%
3/21	#80→#89	 <u>Pancake Swap</u>	DEX	▲6.93%
3/21	#92→#73	 <u>Four</u>	Gaming	▲118.33%

上記『狙い目：中堅銘柄』に関する最新のトークン価格への影響が予想される話題についての調査結果をPick Up!!

直近1カ月、中堅銘柄の中でGoodマーク付与した銘柄はありませんでした。

有名VCによる 資金調達最新情報分析

『大穴：新規銘柄』 発掘ガイド 3/28

2025年3月1日～3月28日までの期間において、仮想通貨業界における大手ベンチャーキャピタル(VC)の出資実績を詳細に調査し、大穴：新規銘柄を分析します。

今月の主な業界の資金調達プロジェクト数は62社となり、大手VCからの出資を受けたプロジェクトは15社となります。下記は、大手VCから出資を受けた銘柄の中でTSUDOIスタッフが注目する3つのプロジェクトとなります。

※大手VCについては投資資金の大きいTOP20を対象としております。

プロジェクト名	カテゴリー	調達ラウンド	金額	大手VC一覧	融資日	注目度 (3点満点中の評価)
 Plume Network	RWA	戦略的	--	YZiLabs	2025年 3/17	事業モデル ★★★(2.5) メンバー ★★★(2.5)
 Uranium Digital	Platform	シードラウンド	\$6.10M	Framework Karatage etc...	2025年 3/20	事業モデル ★★(2.0) メンバー ★★(2.0)
 Mesh	DeFi	シリーズB	\$82.00M	Paradigm consensys etc...	2025年 3/12	事業モデル ★★★(3.0) メンバー ★★☆(2.5)

3月の資金調達事情について

今月のブロックチェーン業界では、資金調達総額が執筆現在38億8,000万ドル（約5,817億円）を記録。2月の5億960万ドル（約761億円）と比較すると、プロジェクト数は類似しているにもかかわらず金額は2倍以上となり、投資活動の勢いが一段と強まっていることがうかがえます。

3月の投資比率では、Infrastructure（30.2%）が最も高く、続いてOthers（27.9%）、DeFi（22.1%）、CeFi（10.5%）、Web3（8.1%）が挙げられます。インフラストラクチャーをはじめ、分散型金融や新たなビジネスモデルの開発が引き続き注目され、プロジェクトの多様性が市場の成長を後押しする印象です。大口調達が全体の額を押し上げる形となりましたが、投資の対象分野は依然として幅広く、今後も多彩なイノベーションが期待されます。

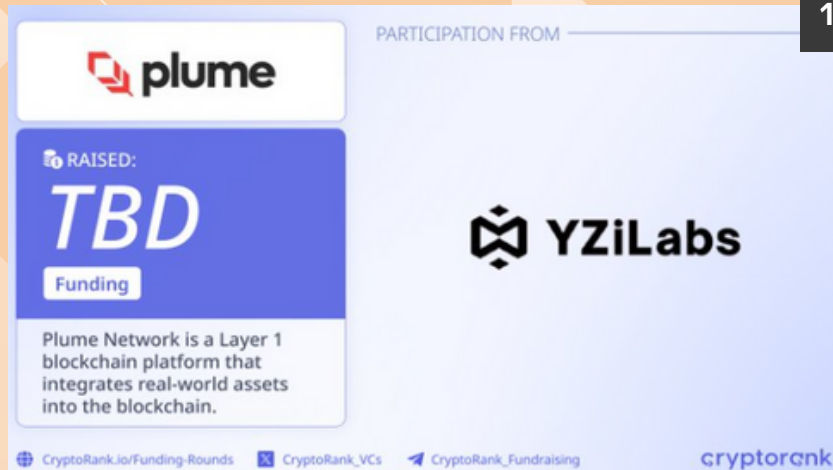
Plume Network

分野：RWA

◆ トークン: PLUME

時価総額RANK #172

※2024年12月の月次レポートで選出された銘柄です



01. 概要 現実資産をブロックチェーンへ『Plume Network』👍

Plume Networkは、実世界の資産（RWA：Real World Assets）をブロックチェーン上でトークン化し、より広範な金融アクセスを実現するEVM互換のパブリック・ブロックチェーンです。本銘柄は、既に数十億ドル以上の伝統的資産（プライベートクレジット、再生可能エネルギー融資、鉱物権利など）をエコシステムにオンボーディング中とのこと。Plumeは、KYC（本人確認手続き）やコンプライアンス対応も重視しており、従来の金融とWeb3の架け橋となるインフラの構築を目指しています。今回の調達は、Binance LabsがリブランディングしたYZiLabsからの調達となっています。

02. 運営メンバー

Founder兼CEO：Chris Yin氏、Co-Founder：Teddy Pornprinya氏

Plume NetworkのFounder兼CEOであるChris Yin氏は、投資会社Scale Venture Partnersでプリンシパルを務め、企業向けアプリやインフラ領域の支援を担当。以前はRainforest QAやCoupa Softwareでプロダクト責任者を歴任し、エンジェル投資家としても多数のスタートアップを支援してきました。Co-FounderのTeddy Pornprinya氏は、BinanceにてBNB Chainの米国事業開発リードを務め、Coinbaseでは企業開発とベンチャー投資に従事。伝統金融と暗号資産の両領域に精通し、Plumeの事業戦略を支える中心人物です。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★☆(2.5)

Plume Networkは実世界資産（RWA）をオンチェーン化し、取引や担保利用を可能にするインフラを提供しています。プライベートクレジットや再生可能エネルギー融資、鉱物権利のトークン化を進めていますが、今後は、トークン化されたRWAの購入するユーザーの獲得策が明確化されるかがネイティブトークン需要を見極めるポイントとなります。

メンバー ★★☆(2.5)

CEOのChris Yin氏は、投資会社やプロダクト責任者としての経験が豊富で、事業構築と資金調達両面に強みを持ちます。Co-FounderのTeddy Pornprinya氏は、BinanceおよびCoinbaseでの実務経験があり、Web3領域での事業開発に精通。いずれも実績ある人材で構成されており、今後の市場拡大においても信頼性の高い体制と言えるでしょう。

Uranium Digital

分野：Platform

◆トークン未発行

Uranium Digital

RAISED: **\$6.1M**

Seed Round

Uranium Digital is an institutional grade spot uranium trading platform powered by Solana.

LED BY **Framework**

PARTICIPATION FROM

Karatage **B+J** rubik ventures

KNOLLWOOD **MIRANA** **ARETE CAPITAL**

ANGELS

Jason Yanowitz Andrew Kang Larry Wu

Bartosz Lipinski

CryptoRank.io/Funding-Rounds CryptoRank_VCs CryptoRank_Fundraising cryptorank

01. 概要 ウラン取引のインフラを築く『Uranium Digital』

Uranium Digitalは、ウラン取引を近代化するための24時間365日稼働する初の機関投資家向けプラットフォームで、物理的な決済を提供します。このプラットフォームは、透明性、効率性、信頼性を備え、1:1で裏付けられた物理的なウランへの即時アクセスを可能にします。また、オンチェーンの準備金証明により、最高の透明性を確保しています。さらに、核燃料としてのウランの重要性を強調し、クリーンで信頼性が高く、効率的なエネルギー源としての核エネルギーの利点を紹介しています。Uranium Digitalは、ウラン市場の近代化を目指し、持続可能な未来に向けたエネルギー取引の新しい形を提供しています。

02. 運営メンバー

Founder兼CEO：Alex Dolesky氏、CSO：Ryan Gorman氏

Alex Dolesky氏は、Scotia CapitalやCanaccord Genuityで金融・商品取引に携わり、ウラン市場の非効率性に着目。2021年にはニューヨークのヘッジファンドCapital Y Managementを共同設立し、コモディティ領域の投資に従事しました。ブロックチェーン技術の活用により、制度的なウラン取引市場の構築を目指してUranium Digitalを創業し、複数の著名VCから資金を調達。Ryan Gorman氏は、米デジタル資産運用企業Valkyrieで広報責任者を務め、ETFやDeFi商品の市場投入を主導。現在は複数のWeb3企業で戦略・広報を支援し、Uranium Digitalでも中核を担っています。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★(2.0)

機関投資家にとって、Uranium Digitalは流動性、透明性、参入障壁の低下、価格発見の改善、そして成長市場へのアクセスを提供し、新たな投資機会を生み出します。Uranium Digitalは機関投資家を新たに市場に参加させることで取引量と収益を増やし、事業をスケールさせる基盤を築けます。ただし、規制や市場の受け入れ度合いがスケールの成否を左右するでしょう。

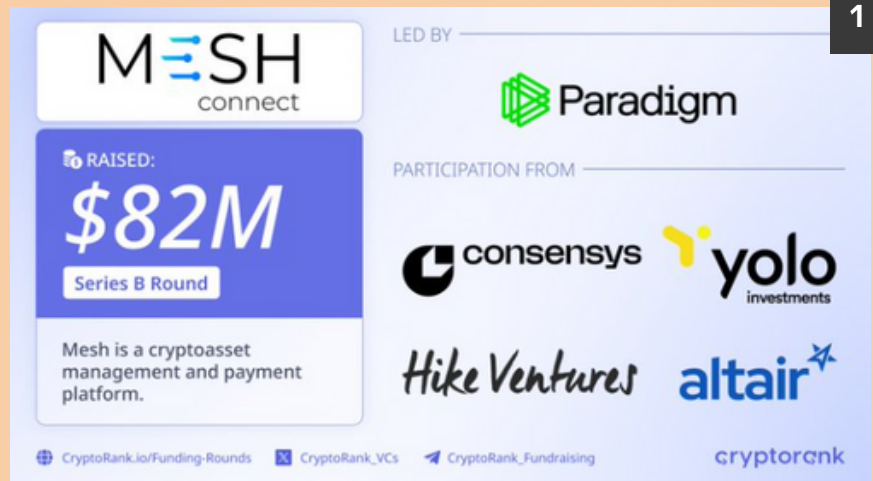
メンバー ★★(2.0)

Alex Dolesky氏は、Scotia CapitalやCanaccord Genuityでの金融・商品取引経験を持ち、ヘッジファンド設立も手がけた実績から、制度的なウラン市場構築に資する経歴といえます。一方、Ryan Gorman氏は米資産運用会社Valkyrieで広報責任者を務めた経験を持ち、Web3分野での戦略・広報支援にも精通。市場への発信力と実行力を備えた体制といえます。

Mesh

分野：DeFi

◆トークン未発行



01. 概要 暗号資産のままスムーズな決済を目指す『Mesh』

Meshはグローバルな暗号資産決済ネットワークを構築するスタートアップです。ブロックチェーンを基盤に、ユーザーがBTCやETH、SOLなど好きな暗号資産で支払いでき、加盟店側は希望するステーブルコイン（USDC、PayPalのPYUSD、RippleのRLUSD等）で代金を受け取れる仕組みを提供します。既にMetaMask（暗号資産ウォレット）や米決済大手Shift4、などと連携しており、世界100か国・4億人以上のユーザーがこのネットワークを利用可能な基盤を整えています。暗号資産と法定通貨に連動したコイン（ステーブルコイン）の橋渡しをシームレスに行うことで、ユーザー・店舗双方にとって違和感のない決済体験を目指しています。

02. 運営メンバー

CEO兼Co-Founder：Bam Azizi氏、COO兼Co-Founder：Adam Israel氏

MeshのCEO兼Co-FounderであるBam Azizi氏は、本人認証スタートアップNoPasswordのCTOとして同社をLogMeInに売却後、同社のディレクターとして従事。現在はMeshで金融機関やウォレットとの統合を推進し、暗号資産決済の普及に取り組んでいます。COO兼Co-FounderのAdam Israel氏は、JPモルガンで約8年間にわたり営業責任者や地域マネージャーとして活躍し、その後HSBCやAltoIRAでも幹部を歴任。長年の金融業界経験をMeshに活かしています。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★★★★(3.0)

すでにMetaMaskやRevolutなど有力企業との連携実績があり、グローバル展開の基盤は整いつつあります。また、米国でステーブルコインの規制緩和によりペイメント関連のプロジェットの成長も期待が持てる環境となりつつあります。一方で、各国の決済・送金規制への対応や、加盟店ネットワークの拡充が今後の成長を左右する要素といえるでしょう。

メンバー ★★☆☆(2.5)

CEOのBam Azizi氏は、スタートアップの売却経験とプロダクト開発に強みを持ち、Meshの技術的リーダーとして信頼性が高い人物です。COOのAdam Israel氏は、JPモルガンをはじめとする伝統的金融機関で長年幹部職を務めており、経営管理と業界理解の両面で実績があります。Web2・金融・暗号資産を横断するバランスの取れた創業チームといえます。

3月週次レポート掲載 新規銘柄 継続分析ガイド

『大穴：新規銘柄』発掘ガイド 3/28

2025年3月1日から3月28日までの期間において、CMCで新規リストされ、時価総額ランク50位以下の『大穴：新規銘柄』の月末時点での経過調査となります。

CMC新規リスト銘柄

配信日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格 (掲載~3/28比較)
3/14	#193 → #254	 RedStone 	Oracles	¥24,202,020,384	¥86.40 ▼7.31%

RedStone：RED

大きなアップデートは無いものの細かい事業進捗を配信

直近1週間では、Story Protocolのテストネットで価格フィード提供の動きが見られます。AVS (Actively Validated Service) のテストが順調で、EigenLayerを活用したセキュリティ強化が進展。Miner Airdropも準備中で、Minerとはデータ提供や検証を行う参加者を指し、報酬としてトークンが配布されます。70以上のチェーンと130超のクライアントをサポートし、成長基盤を強化中です。

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>
- TokenInsight：<https://tokeninsight.com/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。

レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDOI

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudoi-platform.co.jp/>